



2017年4月20日

会社名 飯野海運株式会社
代表者 代表取締役社長 當 舎 裕 己
(コード番号 9119 東・福)
問合せ先 総務・企画部長 大谷 祐 介
(TEL 03-6273-3069)

中期経営計画 「Be Unique and Innovative. -創立 125 周年(2024 年)に向けて-」 策定のお知らせ

当社グループは、当社創立 125 周年である 2024 年に向けたグループ企業の一層の成長を目指し、3 カ年の中期経営計画「Be Unique and Innovative. -創立 125 周年(2024 年)に向けて-」(計画期間: 2017 年 4 月～2020 年 3 月) を策定しました。

2014 年度に策定された前中期経営計画「STEP FORWARD 2020」(計画期間: 2014 年 4 月～2017 年 3 月) では、「攻めの展開へ」をテーマとし、海運業ではケミカルタンカー、大型ガスキャリアの船隊整備、不動産業ではターゲットエリア内への資産の集中等、安定収益の確保・拡大に向けた取組みを推進しました。

今回の中期経営計画は、基本的には前計画の方針を踏襲しつつ「バランス経営の推進と先進性への挑戦」への取組みを主眼として、高品質なサービス“IINO QUALITY”を提供し、独自のビジネスモデル“IINO MODEL”により持続的に成長する企業、そして新しい分野へ挑戦し続ける独立系グローバル企業としての地位確立を目標としています。

「Be Unique and Innovative. -創立 125 周年(2024 年)に向けて-」において、当社グループは、お客様に支持されるサービスの質的向上を図り、更なる差別化を追求します。海運業では、多様化する顧客ニーズに対応するため、世界展開の加速及び一体的な提案営業により競争力を強化します。また不動産業では、ターゲットエリア内への資産集約の一環として西新橋一丁目再開発事業を推進し、安定収益の磐石化に取組みます。これに加え、次世代ビジネスへ挑戦することで確実な成長を目指し、海運業と不動産業を両輪とした経営をより一層進化させて参ります。

中期経営計画概要

Be Unique and Innovative. - 創立125周年(2024年)に向けて -

テーマ: バランス経営の推進と先進性への挑戦
期 間: 2017 年 4 月～2020 年 3 月

海 運 業



不 動 産 業



重点強化策

- (Ⅰ) 更なる差別化の追求
- (Ⅱ) 安定収益の磐石化
- (Ⅲ) 次世代ビジネスへの挑戦

基盤整備項目

ノウハウ再構築・
浸透・伝承による
競争力強化

人的資源
開発強化と
最適活用

情報
ネットワークの
戦略的拡充

キャッシュ・フロー
経営と
財務基盤強化

リスク管理の
徹底

予想運航規模・稼働棟数

| | 13年度末実績 | STEP FORWARD 2020 | 16年度末実績 | Be Unique and Innovative. | 19年度末予想 | Next Stage | 24年度予想 |
|-----------------|-------------|---|-------------|---|-------------|------------|-------------|
| ケミカルタンカー | 44隻 | 【ケミカル】 ・米州配船への足がかり ・競争力ある船隊整備 【LPG】 ・大型船新規契約獲得 【ドライバルク】 ・構造改革実施 ・石炭専用船新規契約 【不動産】 ・笹塚ビル売却 ・西新橋一丁目再開発参画決定 | 38隻 | 【ケミカル】 ・緩やかな船隊拡大 ・老船リフレッシュ ・米国J/V向け用船拡大 【ドライバルク】 ・船隊の最適化 ・中短期用船活用した柔軟性ある船隊構成 【不動産】 ・ターゲットエリア戦略深化 ・保有資産入替 | 45隻 | 115隻+a | |
| LPGキャリア (内、大型船) | 33隻 (5隻) | | 35隻 (6隻) | | 33隻 (7隻) | | |
| LNGキャリア | 13隻 | | 13隻 | | 13隻 | | |
| オイルタンカー | 5隻 | | 3隻 | | 4隻 | | |
| ドライバルクキャリア | 21隻 | | 16隻 | | 14隻 | | |
| 海運業合計 | 116隻 | | 105隻 | | 109隻 | | |
| 不動産業合計 | 6棟 | | 4棟 | | 5棟 | | 6棟+a |

数値目標

| | | 2016年度実績予想 ※1 | 2017年度計画 | 2018年度計画 | 2019年度計画 |
|------------|------|---------------|----------|----------|----------|
| 前提 | 為替 | | 110円/\$ | 110円/\$ | 110円/\$ |
| | 燃料油 | | \$370/mt | \$370/mt | \$370/mt |
| 売上高 | (億円) | 830 | 800 | 840 | 890 |
| 営業利益 | (億円) | 65 | 50 | 70 | 90 |
| 海運業 | | 28 | 17 | 35 | 50 |
| 不動産業 | | 37 | 33 | 35 | 40 |
| 経常利益 | (億円) | 48 | 40 | 61 | 78 |
| 当期純利益 | (億円) | 33 | 37 | 58 | 74 |
| EBITDA | (億円) | 142 | 140 | 170 | 190 |
| EBITDA/総資産 | | 6.5% | 6%台 | 7%台 | 8%台 |
| 純資産 | (億円) | 683 | 718 | 763 | 825 |
| D/E Ratio | (倍) | 1.7 ※2 | 1.6-2.0 | 1.6-2.0 | 1.5-2.0 |
| 配当 | | 10円 | 8~12円 | | |

※1 16年度は17年1月31日 公表通期予想

※2 D/E Ratioは2016年12月31日 実績

「Be Unique and Innovative. -創立125周年(2024年)に向けて-」の補足資料は、当社グループホームページに掲載しております。<<https://www.iino.co.jp/>>

本資料で記述されている業績予想及び将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

以上